

「環境フォーラム 2012」開催決定！

「おうしゅう環境フォーラム2012」の実行委員会となるプロジェクトチーム会議が、7月18日（水）と8月8日（水）に開催されました。

今年度のフォーラムは、江刺総合支所多目的ホールを会場に、地域の宝や環境についてもう一度見直すきっかけとなる内容であり、基調講演は、葛巻町「森と風のがっこう」代表の吉成信夫氏を予定しています。その他にも、エコ・アイデア募集やステージ発表など、盛りだくさんの企画を検討しています。

日時：平成 24 年 11 月 11 日（日）10 時～15 時

会場：江刺総合支所 多目的ホール（1 階）

内容：鹿踊披露、基調講演、ステージ発表、各種ブース・
パネル展示、エコ・アイデア発表 など



第1回プロジェクトチーム会議

不法投棄発生場所調査

資源循環・廃棄物部会は、7月3日（火）に不法投棄発生場所の調査を5名の参加で行いました。本年度は江刺区を重点的に調査することとし、江刺区内の3箇所、並びに昨年及び一昨年の不法投棄物回収場所の現状調査を行いました。

江刺区内では地域の清掃活動のおかげか、大規模な不法投棄は見られませんでした。

昨年度回収作業を行った場所については、ポイ捨てすら無い状況でした。その一方で、一昨年度実施場所については草が生い茂り、テレビや冷蔵庫などの家電やポイ捨てが多数あり、不法投棄をさせない環境作りの大切さを実感しました。

調査終了後の部会では、
・不法投棄回収作業を実施すること
・回収作業実施後の看板設置を行うこと
が決定されました。



- 調査場所 1 江刺区田原字奈良原地内
// 2 江刺区玉里字峯ノ後地内
// 3 江刺区岩谷堂字下苗代沢
（監視カメラ設置箇所）
// 4 水沢区真城字西館地内
（一昨年度回収実施箇所）
// 5 前沢区字鶴ノ木地内
（昨年度回収実施箇所）



一昨年の不法投棄物回収場所では、再びテレビや冷蔵庫等が捨てられていました。

運営会議（7～8月）からの報告

- ・「環境フォーラム 2012」について、プロジェクトチームから進捗状況の報告がありました。
- ・市で策定作業中の「奥州市環境教育推進方針」について、市から示された原案の内容を検討しました。
- ・奥州FMの出演状況について確認しました。
（毎週火曜日 10：30～ 好評放送中！）



田んぼの生き物調査



「海の日」の7月16日（月）、農薬や化学肥料は一切使わず、冬季にも水を張る「冬・水・田んぼ」を実践している、江刺区玉里の伊藤茂さんの田んぼを会場に、生き物調査を行いました。

当日は、会員5名と「NPO法人メダカの学校」（東京都）から4名が参加し調査した結果、56種類もの生き物が確認され、改めて伊藤さんの田んぼの素晴らしさを実感した一日となりました。



「メダカの学校」の林先生に、生き物の種類について解説していただきました。

今回確認された主な生き物

【両生類・は虫類】カナヘビ、シマヘビ、トノサマガエル、ツチガエル
 【魚・貝・甲殻類】メダカ、ドジョウ、シマドジョウ、ケンミジンコ
 【水生昆虫】コミズムシ、マツモムシ、コオイムシ、シマゲンゴロウ
 【トンボ】キイトンボ、モノサシトンボ、シオカラトンボ、ギンヤンマ
 【チョウ・ガ】キアゲハ、ツバメシジミ、ベニシジミ、モンキチョウ
 【その他】カゲロウ、ガガンボ、ユスリカ、イトミミズ、ツマグロイナゴ

玉川ダム&中和処理施設を視察

合同企画
 ☆自然環境部会・生活環境部会☆

6月28日（木）、秋田県の玉川ダムと中和処理施設を視察しました。今回は、会員の紹介で市民3名も同行し、総勢21名の参加者でした。

玉川ダムの水は、見た目は美しい緑がかった青色です。これは酸性に含まれるアルミニウムの粒が光に反応して青色になっていること、また、ダムに川の水が入り込む端の方には酸性に強い魚ウグイが生息しているが、ダム全体には余りにも酸性濃度が強すぎてどんな魚も生息していないことなど、職員より説明を受けました。

かつて、田沢湖の豊富な水でこの酸性水を中和しようと流入したために、田沢湖にしか生息していなかった『クニマス』が絶滅し、他の魚も生息できなくなってしまいました。その後、水質がpH6.0程度まで中和されれば、再び魚が生息できるようになると想定し、これを目標に今も莫大な費用を投じながら処理業務に励んでいるとのことでした。（現在はpH5.4程度で、生息しているのは酸性に強いウグイのみとのことでした。）

参加者は、かつての残念な行為に胸を痛めつつ、環境問題に対しては将来的な目線で取り組む必要があると改めて感じた様子でした。



ダム職員の説明にみな真剣に聞き入りました。



玉川温泉から徒歩20分… →
 放射線量が最も高いエリアに足を運び見学した会員もありました。

自然観察会 ～衣川でホタルの乱舞～

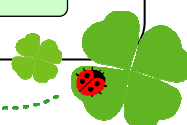
自然環境部会では、7月12日（木）衣川区大森地区でホタル観察会をしました。当日は全国的に雨模様で、奥州市でもお昼頃に強い雨に見舞われましたが、集合時間には雨も上がり、蒸し暑く、ホタル観察には絶好のコンディションとなりました。

大森ホタルの会の皆さんにガイドをいただきながら、幻想的でクリスマスツリーのようなホタルの光に魅了されるひと時を過ごすことができました。

皆さんがホタル観察をする場合は、ホタルをライトで照らさない、ホタルを持ち帰らない、大声でさわがない等のマナーを、ホタルのためにも守ってください。



ホタル乱舞の様子（撮影：高橋代表）





放射能から子どもとみんなの命を守る ①

奥州市環境市民会議員 吉田智子

1. はじめに

目にも見えず匂いもなく、五感ではわからない放射能。福島原発の爆発で、この大地に広島型原爆の168個分も落ちたセシウム。そして、その1/10は落ちていているといわれているストロンチウム。両者と向きあって暮らす毎日が強いられています。

「直ちに健康に影響のあるレベルではない」という何度も聞いた言葉。約半数が死ぬといわれる4千ミリシーベルトや下痢・嘔吐の急性症状等の出る高線量ではありません。「直ちにはない」かもしれないが、10年、30年後の晩発的影響や遺伝的影響はどうか、政府は言いません。更に、各地で開催される講演会の「安全です」の大合唱。「本当はどうか」を学んで報告していくことが、お世話になった地域と子らへの責務と思いました。

2. 内部被曝（ひばく）が危険

①被曝（ひばく）とは

人が、放射能をあびることを被曝といいます。沢山ある放射線の中で問題なのは、電離放射線というエネルギーの大きな放射線で、原爆や原発の核分裂から生み出されます。

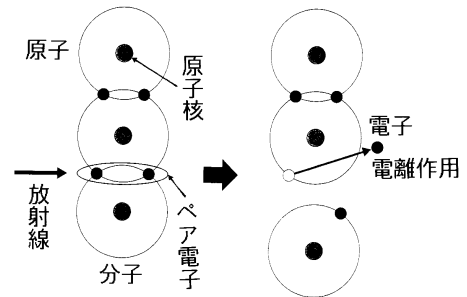
私達人間や全ての物質は、耳なれない「原子」というものからできています。真ん中にある原子核というものの周りをまた耳なれない「電子」が回っているという状態なのですが、この原子どうしが結合した分子という姿で地球上のほとんどのものが存在しています。例えば、水は、水素原子2個と酸素原子1個で、 H_2O が水の分子というぐあいです。

放射線が飛んできて電子にあたると、図の様に、電子がはじき飛ばされてしまいます。これを、電離作用といいます。電子と電子のペアが壊され、結合が解け、分子が切断されてしまうのです。

人間の分子は、なんらかの生命活動を担っていますが、分子が切断されると生命活動がうまくいかなくなり、脱毛、下痢、出血等の急性症状が出て、切断が大量の場合、死に至ります。

人間の体は修復作用も大きいのですが、再結合が正常に行われない（異常再結合）と、後で癌化する危険や、組み換えられた遺伝子が子孫に伝わる危険も生まれます。（次号に続く）

（※このコーナーは、5回シリーズで掲載予定です。）



会員紹介

会員No.事-06／環境学習部会所属

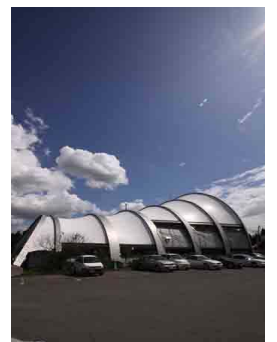
『工藤建設株式会社』 代表取締役 工藤一博 さん

平成13年に現社屋に引っ越してきました。屋根は東京ドームと同じtentで出来ていて、採光に恵まれてはいるのですが、ビニールハウスの中と同じで【夏は物凄く暑く、冬は物凄く寒い事務所】になっていました。事務職員は、茹でタコみたいになって働いていました。このような劣悪環境の事務所を、【再生可能エネルギー】を使って快適な事務所の実験場にしようと始めました。

現在は冬に降雪した雪を貯蔵（460^ト）して、夏場に事務所内を冷やしています。同じ冷やすのでも電気エアコンで冷やすのと違い、体に優しい冷房です。また冬の暖房は、工事現場から発生した支障木を利用し、薪ストーブにしました。木が燃焼するとき発生する遠赤外線の効果のため体中がぽかぽかになります。さらに、この薪ストーブにタンクを載せお湯を沸かし、床暖房にする事も計画しています。

このような事で社内のCO₂を75%も削減する事が出来ました。削減した内容が評価され、今年5月に『第10回日本環境経営大賞環境経営優秀賞』を頂きました。この賞は日本全国の企業や学校などのCO₂削減の取り組みを三重県が主催しています。当時の三重県知事北川正恭氏の発案で2002年にスタートしたものです。残念ながら今年で最後になるそうです。

表彰式会場では、第1回と第8回に環境経営パール大賞を受賞した滋賀銀行CSR室長西堀氏の『新しい事にチャレンジしている企業は倒産が少ない』『環境経営している企業は倒産が少ない』の言葉に励まされて帰ってきました。





あなたは人生に成功していますか？それとも・・・

今回は、タバコが子どもの知能に及ぼす影響について見てみましたが、今度は大人です。喫煙が直接脳に与える影響について見ていきましょう。

イスラエル・テルアビブ大学で精神医学の研究をしているマーク・ウィーザー教授は、イスラエル軍に入隊した 18 才から 21 才までの男性 20,211 人を対象にして調査しました。



研究では対象者の IQ(知能指数)を調査し、それを喫煙者、非喫煙者に振り分けて平均値を出す方法がとられた。その結果、**非喫煙者の平均 IQ は 101 だったのに対し、喫煙者の平均 IQ は 94 しかなかった。**また、1 日につき 1 箱以上消費する喫煙者ではその数値が 90 近くまで落ち込んだ。

つまり、**タバコを多く吸っている人ほど IQ が低い傾向にある**ということです。

一方、スコットランドで行われた調査では、喫煙者・非喫煙者に同じ内容の試験問題を解かせたところ、喫煙者の平均成績はいずれも非喫煙者のそれよりも低かったそうです。さらにまた、その後数十年で、喫煙者の成績はより大幅に低下したとのこと。

また、双子の喫煙者・非喫煙者について調べた研究もあります。これもまた、同じ遺伝子を持っているにも関わらず非喫煙者の方が IQ が高く、喫煙者は低かったそうです。

つまり、タバコの毒が、人間の知能を低下させるのですね。もちろん受動喫煙した場合も同じです。

ウィーザー教授も「低い IQ の人々は自らの健康に対する意思が非常に弱いようだ。彼らはタバコ以外にも肥満、栄養の偏り、そして薬物中毒などの問題も抱えているだろう」と語っています。

タバコを喫う人、肥満の人は自己管理能力がないということで管理職になれないというアメリカ社会。かのオバマ大統領も、タバコをやめてから初めて、政治家になり大統領にまで出世したそうですよ。

タバコを喫うことで、思いがけない代償を払わされているのですね。もしかしてあなたの今までの失敗、**タバコが原因**だな～なんてことはないですよね？

生活環境部会より (文責：建部 信)

～会員の皆様へ～

友人・知人などに、環境に興味のある方がいらっしゃいましたら、活動に誘って輪を広げていきましょう。

ハッピーエコライフコーナー

先日、ごみ収集車から煙が出る事件がありました。原因は、ガスが残ったままのスプレー缶が収集ごみに混ざっていたためようです。

車両火災になる危険性が高いので、カセットボンベやスプレー缶などを捨てる際は、穴を開けるなどして完全にガスを抜くようにしましょう。

また、ごみの収集・処分には多額のお金が使われていますが、ごみを減らし、分別や出し方のルールを守れば、このお金の節約にもなります。

資源循環・廃棄物部会所属 及川堅一
(奥州 FM 「778 っぴーエコライフ」 8/7 放送から)

◇ つぶや記・あとが記 ◇

ロンドンオリンピックも終わり、寝不足は解消されましたか。特にスポーツが好きな訳でも愛国心が強い訳でもないけれども、ニッポンチャチャチャと応援していました。無条件でオリンピックはいいと思う単純な国民であります。観客のブーイングによって判定が覆ったり、審判の当たり外れも勝敗の内なんだなあと、公平の難しさも垣間見たオリンピックでした。

夏の祭りもおしまい、さあ仕事仕事。

工藤晶子

事務局 奥州市水沢区大手町一丁目 1 番地 奥州市役所市民環境部生活環境課内

電話 0197-24-2111 / ファックス 0197-51-2374 / メール seikatsu@city.oshu.iwate.jp

ホームページ http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/kankyoku/osyu_siminkaigi.html

